

2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社タカトリ 上場取引所 東
コード番号 6338 URL https://www.takatori-g.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 誠
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 重富 謙一 TEL 0744-24-8580
半期報告書提出予定日 2026年5月14日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	2,733	△28.5	△91	—	△33	—	6	△98.1
2025年9月期中間期	3,824	△62.4	504	△72.2	495	△72.1	333	△71.9

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 △8百万円 (—%) 2025年9月期中間期 322百万円 (△73.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	1.17	—
2025年9月期中間期	61.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	15,380	9,848	64.0
2025年9月期	15,911	10,266	64.5

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 9,848百万円 2025年9月期 10,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※業績予想の修正につきましては、本日公表の「特別利益の計上および第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異並びに非連結決算移行に伴う2026年9月期通期業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期中間期	5,491,490株	2025年9月期	5,491,490株
2026年9月期中間期	158,321株	2025年9月期	41,021株
2026年9月期中間期	5,354,992株	2025年9月期中間期	5,460,108株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、本日公表しました「特別利益の計上および第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異並びに非連結決算移行に伴う2026年9月期通期業績予想の公表に関するお知らせ」に記載のとおり、2026年9月期第3四半期より非連結決算に移行します。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当中間決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
3. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢を中心とした国際情勢や通商環境の混乱などによる不透明感を抱えながらも、A I 開発・利活用の拡大による底堅い成長を維持しております。

米国では、活発なA I 関連投資や減税規模の拡大による堅調な成長がみられる一方、関税政策や中東情勢の緊迫化に伴う景気の減速が懸念されております。欧州では、良好な所得環境を背景に景気の持ち直しが続いており、製造業を中心とした企業の景況感の改善にもつながっております。中国では、サービス消費やインフラ投資の拡大により一時的な上振れがみられたものの、若年失業率の高止まりや不動産の過剰在庫などの構造問題が解決しておらず、景気の停滞が見込まれております。

一方、国内経済は、価格転嫁の進展や変動費の減少に下支えされ、緩やかな拡大傾向がみられておりますが、地政学リスクの長期化による先行きの不透明感を抱えております。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子部品業界におきましては、人手不足やD X化などの中長期的な課題解決に向けた投資拡大が引き続き積極的に実施されておりますが、E V市場では成長の鈍化がみられており、当社グループの電子機器事業につきましては、繊維機器事業と共に低調な結果となりました。一方、医療機器事業につきましては、堅調に推移いたしました。

損益面につきましては、電子機器事業の売上が低調に推移したこと、さらに、原材料高騰等による影響を受ける中、製造コストの低減および諸経費の圧縮に努めましたが、当中間連結会計期間の売上高は、2,733百万円（前年同期比28.5%減）、営業損失は91百万円（前年同期は営業利益504百万円）、経常損失は33百万円（前年同期は経常利益495百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は6百万円（前年同期比98.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

半導体製造機器では、国内ユーザー向けにはディスクリート半導体用や電子部品用製造装置などの販売があり、海外ユーザー向けにはI C用や通信半導体用製造装置・半導体パッケージテスト分野向けにも装置の販売がありましたが、一部の装置受注が計画を下回ったため、売上は低調に推移いたしました。

新素材加工機器では、国内において広範な素材に関わる装置販売およびサービスによる売上がありましたが、主力のS i C業界においては新規設備投資に対する慎重な姿勢が継続しており、G a Nを含む他の新素材分野においては本格的な設備投資に時間を要していることから、売上は低調に推移いたしました。

ディスプレイ製造機器では、真空貼合技術を使った電子部品材料製造装置や、当社が開発を進めてきた電池分野において関連装置を販売いたしました。一方で一部の装置受注が計画を下回ったため、売上は低調に推移いたしました。

その結果、売上高は2,477百万円（前年同期比32.1%減）、セグメント損失34百万円（前年同期はセグメント利益555百万円）となりました。

(繊維機器事業)

繊維機器事業では、安価な海外製繊維工業製品の国内市場への流入が継続しており、国内の縫製事業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあり、生産量の減少を背景に新規設備投資の需要は限定的な中、売上は低調に推移いたしました。

その結果、売上高は75百万円（前年同期比42.1%増）、セグメント利益0百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業では、他の医療機器並びに健康機器メーカーとの連携のもと、継続的に医療機器および健康機器の開発を行っており、開発完了したO E M製品の販売が好調に推移いたしました。また、「胸腹水濾過濃縮装置M－C A R T」につきましては、学会出展や企業セミナーを通じた情報発信を行うとともに、医療機関への販売、レンタルおよび試用貸出しを継続的に実施しております。これらの取り組みの結果、売上は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は180百万円（前年同期比48.6%増）、セグメント損失57百万円（前年同期はセグメント損失36百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて531百万円減少し、15,380百万円（前連結会計年度末は15,911百万円）となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて554百万円減少し、12,418百万円（前連結会計年度末は12,973百万円）となりました。これは、主に現金及び預金が150百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が542百万円減少、棚卸資産が239百万円増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて23百万円増加し、2,961百万円（前連結会計年度末は2,938百万円）となりました。これは、主に建物及び構築物が30百万円減少、投資有価証券が32百万円増加、繰延税金資産が37百万円増加等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて112百万円減少し、5,532百万円（前連結会計年度末は5,645百万円）となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて108百万円減少し、5,475百万円（前連結会計年度末は5,584百万円）となりました。これは、主に買掛金が23百万円減少、電子記録債務が34百万円減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4百万円減少し、56百万円（前連結会計年度末は61百万円）となりました。これは、主に固定負債その他が4百万円減少等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて418百万円減少し、9,848百万円（前連結会計年度末は10,266百万円）となりました。これは、主に剰余金の配当の支払等による利益剰余金218百万円減少、自己株式の取得による支出185百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて150百万円減少し、4,960百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少額229百万円、棚卸資産の増加額239百万円、仕入債務の減少額70百万円及び法人税等の支払額又は還付額286百万円があったこと等により、27百万円の支出（前年同期は388百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出80百万円、投資有価証券の償還による収入100百万円及び子会社の清算による収入249百万円があったこと等により、352百万円の収入（前年同期は406百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出185百万円及び配当金の支払額217百万円があったこと等により408百万円の支出（前年同期は464百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績予想につきましては、本日公表しました「特別利益の計上および第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異並びに非連結決算移行に伴う2026年9月期通期業績予想の公表に関するお知らせ」に記載のとおり、2026年9月期第3四半期より非連結決算に移行することに伴い、連結業績予想から個別業績予想に変更しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,120,396	4,970,162
受取手形、売掛金及び契約資産	2,181,579	1,638,824
電子記録債権	33,142	346,561
仕掛品	1,181,866	1,602,088
原材料及び貯蔵品	3,996,492	3,815,422
その他	475,122	45,804
貸倒引当金	△14,908	—
流動資産合計	12,973,691	12,418,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	825,686	795,092
土地	782,307	782,307
その他(純額)	248,512	232,513
建設仮勘定	—	3,510
有形固定資産合計	1,856,506	1,813,424
無形固定資産	18,418	15,691
投資その他の資産		
投資有価証券	840,103	872,297
繰延税金資産	78,551	116,376
その他	144,649	144,120
投資その他の資産合計	1,063,304	1,132,794
固定資産合計	2,938,230	2,961,910
資産合計	15,911,921	15,380,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	415,717	392,451
電子記録債務	529,220	494,909
契約負債	110,081	123,756
短期借入金	4,100,000	4,100,000
未払法人税等	6,554	45,985
賞与引当金	65,441	94,396
製品保証引当金	20,201	13,677
事業構造改革引当金	28,187	—
その他	308,835	210,786
流動負債合計	5,584,240	5,475,963
固定負債		
資産除去債務	34,214	34,443
その他	26,871	22,288
固定負債合計	61,085	56,731
負債合計	5,645,325	5,532,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	7,894,606	7,675,921
自己株式	△32,771	△218,231
株主資本合計	10,177,386	9,773,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,358	74,837
為替換算調整勘定	15,850	—
その他の包括利益累計額合計	89,208	74,837
純資産合計	10,266,595	9,848,080
負債純資産合計	15,911,921	15,380,775

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,824,283	2,733,123
売上原価	2,556,308	2,082,812
売上総利益	1,267,975	650,311
販売費及び一般管理費	763,048	741,612
営業利益又は営業損失(△)	504,926	△91,300
営業外収益		
受取利息	6,661	3,516
受取配当金	13,901	25,533
受取賃貸料	3,485	3,465
受取ロイヤリティー	3,364	2,198
売電収入	5,164	1,793
補助金収入	1,672	1,970
貸倒引当金戻入額	—	14,908
為替差益	—	21,458
その他	5,144	6,696
営業外収益合計	39,394	81,541
営業外費用		
支払利息	10,053	18,385
為替差損	36,197	—
減価償却費	2,280	2,280
その他	200	2,703
営業外費用合計	48,732	23,369
経常利益又は経常損失(△)	495,587	△33,128
特別利益		
子会社清算益	—	41,414
特別利益合計	—	41,414
特別損失		
固定資産除却損	—	54
特別損失合計	—	54
税金等調整前中間純利益	495,587	8,231
法人税、住民税及び事業税	29,614	33,393
法人税等調整額	131,992	△31,439
法人税等合計	161,607	1,954
中間純利益	333,980	6,277
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	333,980	6,277

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	333,980	6,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,271	1,479
為替換算調整勘定	1,692	△15,850
その他の包括利益合計	△11,579	△14,371
中間包括利益	322,401	△8,093
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	322,401	△8,093
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	495,587	8,231
減価償却費	71,456	66,138
賞与引当金の増減額(△は減少)	△201,862	28,955
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,000	△50,000
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△72,820	△6,524
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,241	△14,908
受取利息及び受取配当金	△26,104	△29,049
子会社清算損益(△は益)	—	△41,414
支払利息	10,053	18,385
売上債権の増減額(△は増加)	923,978	229,335
固定資産除却損	—	54
棚卸資産の増減額(△は増加)	△471,214	△239,152
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	—	△28,187
仕入債務の増減額(△は減少)	△502,056	△70,616
契約負債の増減額(△は減少)	△235,160	13,675
その他	99,678	△185,923
小計	34,294	△301,002
利息及び配当金の受取額	14,258	5,659
利息の支払額	△10,053	△18,385
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△427,430	286,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	△388,930	△27,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,156	△16,701
投資有価証券の取得による支出	△602,032	△80,677
投資有価証券の償還による収入	200,000	100,000
無形固定資産の取得による支出	△330	—
子会社の清算による収入	—	249,640
貸付金の回収による収入	—	100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△406,519	352,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	—
長期借入金の返済による支出	△39,998	—
リース債務の返済による支出	△4,879	△6,366
自己株式の取得による支出	△74	△185,460
配当金の支払額	△219,282	△217,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,233	△408,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,013	△66,423
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,251,669	△150,233
現金及び現金同等物の期首残高	6,264,669	5,110,396
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,012,999	4,960,162

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自2024年10月1日 至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電子機器事業	繊維機器事業	医療機器事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	3,649,683	52,802	121,797	3,824,283
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,649,683	52,802	121,797	3,824,283
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,649,683	52,802	121,797	3,824,283
セグメント利益又はセグメント損失(△)	555,681	△13,959	△36,795	504,926

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年10月1日 至2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電子機器事業	繊維機器事業	医療機器事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,477,069	75,058	180,995	2,733,123
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,477,069	75,058	180,995	2,733,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,477,069	75,058	180,995	2,733,123
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△34,325	604	△57,579	△91,300

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年7月25日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間に自己株式117,300株の取得を行いました。以上の結果、自己株式が185,460千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が218,231千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)		前連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
電子機器事業	3,649,683	95.4	2,477,069	90.6	6,930,112	94.5
繊維機器事業	52,802	1.4	75,058	2.8	129,252	1.8
医療機器事業	121,797	3.2	180,995	6.6	271,216	3.7
合計	3,824,283	100.0	2,733,123	100.0	7,330,581	100.0

(注) 金額は販売価格によっております。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)		前連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
	受注高(千円)	受注残高 (千円)	受注高(千円)	受注残高 (千円)	受注高(千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	3,525,982	4,026,107	2,390,140	3,402,588	6,269,821	3,489,517
繊維機器事業	93,538	48,467	59,977	24,749	161,351	39,830
医療機器事業	102,188	191,939	269,772	347,928	318,818	259,151
合計	3,721,708	4,266,514	2,719,890	3,775,266	6,749,991	3,788,499

(注) 金額は販売価格によっております。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)		前連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
電子機器事業	3,649,683	95.4	2,477,069	90.6	6,930,112	94.5
繊維機器事業	52,802	1.4	75,058	2.8	129,252	1.8
医療機器事業	121,797	3.2	180,995	6.6	271,216	3.7
合計	3,824,283	100.0	2,733,123	100.0	7,330,581	100.0

(注) 主要な輸出先及び輸出版売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出版売高の割合であります。

輸出先	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)		前連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
アジア	1,589,942	70.2	913,551	75.8	3,004,367	75.7
その他の地域	675,721	29.8	292,198	24.2	963,377	24.3
合計	2,265,663 (59.2%)	100.0	1,205,749 (44.1%)	100.0	3,967,745 (54.1%)	100.0